鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

第44号　H21．9．1

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目1番1号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

鶴丸高校ちょっといい話

二学年主任　池尻　弥生

鶴丸高校に勤務して今年で9年目になる。この間多くの生徒や先生方に出会い、さまざまな体験をしてきた。そこで今回はこの誌面をお借りして私がこれまでに見聞きしてきた出来事を紹介しようと思う。それらはいずれも「これが鶴丸」という静かな感動をおぼえさせてくれるものばかりである。

私は常日頃、生徒たちに掃除をきちんとする、あるいはできるようになろうと語りかけている。なぜか。それは掃除に対する取り組み方で人柄や能力がはっきりと見えてくるからである。「私がある会社の社長なら、採用に際して応募者に十五分間掃除をしてもらい、その様子で採用不採用を判断する。」といった具合に生徒には掃除から見えてくるものの重みを訴えている。あくまで私見であるが、掃除時間に予鈴と共に最初に担当場所へやってくるのは誠実な人柄の生徒である。また十分間の掃除に黙々と取り組むのは集中力がある生徒であるし、こちらが指示しなくても次に何をすべきかわかっている生徒は機転の利く頭の良い生徒である。今年度の掃除担当で私の見る限り最も優れた掃除班は男子職員トイレ担当の三年生男子生徒チームと東側渡り廊下担当の三年生女子生徒チームである。この2グループの機動力には目を見張るものがある。トイレ担当の男子生徒たちは毎日予鈴が鳴るやいなや、裸足でトイレの床磨きをしている。廊下担当の女子生徒たちはてきぱきとした箒さばきで、人通りの多い渡り廊下を余すところ無く時間内に掃き終わる。もちろんいずれも無言である。さらには指導の先生が毎日ついておられるわけでもない。来る必要がないと言っても過言ではない。おそらく4月当初の指導で十分だと判断されたのだろう。鶴丸生のほとんどがいずれ社会に出て、何らかの組織の一員として働くことになるだろう。その時求められるのは、自分が置かれた立場を理解し、その責務を果たす意欲と能力である。俗な言い方をすれば「心意気」である。私はこれらの生徒たちから鶴丸生の純粋な心意気を感じ、日々元気をもらっている。

さて少し時をさかのぼってみよう。平成十四年のことである。職員室英語科三年担当のある先生のところに、三年生の女子生徒が添削指導を受けるためにノートを持ってきた。あいにく担当の先生は席をはずされており、その生徒は直接ノートを渡すことができなかった。するとその生徒は持参したノートをそっと先生の机上に置くと、一歩下がって主のいない席に向かって深々と頭を下げたのである。偶然この様子を見かけた別の先生は、彼女の行動に逆に頭が下がる思いだったと語ってくださった。何が彼女にこのような行動を取らせたのか。それは自分のために特別な時間を割いて指導してくださる先生への感謝の気持ちであり、添削指導によってしっかりと学び力をつけようという彼女の勉学への真摯な思い、さらには指導してくださる先生と彼女との信頼関係だったのだろう。私はこの話を聞いて、本気で学ぼうとする生徒の心の重みを感じ、身の引き締まる思いがした。

平成十六年九月、大会議室には体育大会での応援団員としての活動を終え、受験に向けて黙々と勉強するM君の姿があった。それまでの成績は決して良いとは言えない状況にあった彼の必死さは傍目にもひしひしと伝わってきた。彼は毎日、昼休みになると5分と経たないうちに大会議室の決まった席に陣取り、ひたすら勉強していた。その気迫は軽々しく声を掛けることも憚られるほどであった。M君は一日たりとも欠かすことのない大会議室での昼休みと放課後の勉強を積み重ねて、成績は上昇に転じ、見事難関大学に合格した。私はこの報を聞いて、彼が座り続けた席を密かに「ラッキーシート」と名付けた。ところが、その翌年も同じように部活動引退の季節になると大会議室の一定の席に座り黙々と勉強する生徒がいた。その生徒も見事に志望校合格を果たした。私は彼らが座った席のネーミングを変更した。「パワーシート」である。そこに座ったから成績が上がり、合格したのではない。毎日一定のことを一日も欠かさず続ける覚悟を決めて、それをやり抜いたからこそ栄冠を勝ち取ったのだ。そこに最初から力が秘められていたのではない。彼らがそこに力を宿したのだ。鶴丸とはそういうところなのである。だからといって、だれもかれもが大会議室で勉強する必要はない。それぞれが自分が集中できる自分のパワーシートを見いだして勉学に励んでほしい。鶴丸にはそのような環境が保証されているはずであるし、またお互いに保証し合わなければならないと思う。今年も大会議室で黙々と勉強する三年生の姿がある。鶴丸生のパワーが綿々と受けつがれることを期待している。

平成十三年に本校の校長として着任された坪田勝秀先生は名文家であり、俳人でもあった。当時西側渡り廊下にあった動静板（出欠記録黒板）の余白を利用して生徒たちへのメッセージとして折々の俳句を書かれていた。それを読むのは生徒・職員にとっても楽しみであった。一月のことだったと思う。坪田校長先生はもうじき受験に向かう三年生へ激励の意味を込めた俳句を書かれていた。いよいよ明日が試験という日の放課後動静板の前を通ると、坪田先生の俳句のそばに三年生が書いたものと思われる俳句が書いてあった。残念ながら正確な文言は忘れてしまったが、「ありがとうございます。受験がんばってきます。」という内容であった。古典の時間に学ぶ、まさしく返歌である。機転の利いたこの生徒の俳句を読んで私は「やるな」と嬉しくなった。教師の思いに生徒が応える。学校という場に身を置く者にとってこれほど教師冥利に尽きるものはない。投げたボールがきちんと返ってくる。それはときにはまだまた危なっかしいスローボールであることもある。また時には、いつのまに成長したのかと思わせるような剛速球であったりもする。このやりとりが高いレベルでできるのが鶴丸ならではの醍醐味と言えるだろう。

この他にも心を動かされる出来事はたくさんあったし、現在も日々、様々な嬉しい出来事に遭遇している。鶴丸だからこのような出来事があるのではない。このような出来事があるから鶴丸なのである。ひとつひとつの事に思いを込めて取り組むことができる人間の集団が鶴丸高校という組織を作っているのだ。それが鶴丸の伝統であり、底力である。これからも鶴丸ならではの物語が積み重ねられて、鶴丸生一人ひとりの「かくらざる三年」が輝く日々となることを願っている。

二年修学旅行

去る7月14日から17日にかけて、三泊四日の日程で二年生の修学旅行が実施された。

今年は、初めての試みとして、初日に鹿児島を代表する海の玄関である志布志港から「さんふらわぁ」号に乗って大阪へ向かい、二日目にバスで京都を巡って新幹線で東京へ移動し、三日目に「Go鶴セミナー」と東京ディズニーリゾート観光、最終四日目には東京大学見学をはじめとして都内を巡り、飛行機にて帰途に就くという行程であった。

今回の修学旅行で生徒達は、京都では各学級ごとに観光や体験活動を通して、日本の歴史と文化に触れて見聞を広め、東京では先輩方の職場訪問や大学見学を通じて、生き生きと活躍される先輩方の姿に圧倒されて、社会に出ることの厳しさを実感しつつも、将来の進路や生きかたについて認識と決意を新たにすることができたようであった。そして、何より四日間の集団生活の中で、各学級はもちろん、学年全体としてもまとまることができたと強く感じた。

修学旅行で育まれたこの学年の活力を今後の学校生活に生かし、中堅学年としての自覚を持ってさらに充実した学校生活を送ってくれるものと期待している。

感謝の達人になれ！感謝は無敵！

―菊野克紀さん講話より―

理科　田嶋吾富

総合格闘技DEEPのライト級チャンピオンの菊野さんは5月には二学年の講演会へ招かれたばかりでしたが、今回受験の夏のスタートを切る三年生に向けて元気を与えてもらいたいとの呼びかけに、8月3日の三年悠学講座最終日に再び駆けつけてくださいました。

努力することと挑戦することが、さらに「感謝！」することが成功のコツ。感謝の達人になれ！感謝の達人になればどんな困難も乗り越えられる。今日は「きついときこそチャンス」と「感謝」を忘れないで持ち帰って欲しいと生徒へ。全身から放たれるオーラと真っ直ぐなメッセージに最初はぽつぽつだった質問も後からは時間をはるかにオーバーして生徒一人ひとり本音をぶつけた質問が相次ぎました。時に厳しく核心を突く言葉もありましたが、決して、言い放つだけではなく、必ず付け加えられる「ぼくは最後までみんなを応援しています」という一言で、会場全体に温かく見守られているという安心感が漂っていました。そして、最後の「夢が何のためにあって何のためにやるのか、見失わないように残り半年頑張り抜きます。」という前生徒会長山下美菜子さんのお礼の言葉には、皆さんの張る元気とやる気が込められていました。「皆さんと一緒に自分も頑張ります。」と言い残し、鳴りやまぬ拍手に見送られながら会場を後にする菊野さんでした。

中学生一日体験入学

8月20日（木）・25日（火）の両日、中学生一日体験入学が行われた。今年は去年を大幅に上回る六百四十名の中学三年生の参加があった。中学生たちは本校職員や生徒会執行部から学校の説明を受けたあと、積極的に質問をしたり校内の設備や授業を見学するなどして高校生活への期待をふくらませていた。

9月の行事予定

		9　月	授業カット
1	火	**前期末考査（4日目）** PTA研修旅行	
2	水	1年マスゲーム(5, 6限) 体育祭前健康診断(16:00～)	5, 6
3	木		
4	金	2年マスゲーム(5, 6限)	5, 6
5	土	**悠学講座③**（3年最終回） スクールカウンセリング③	
6	日		
7	月	全校朝会	
8	火	3年実力考査時間割発表 集団訓練(6, 7限)	4, 7
9	水	1・2年合同練習(5・6限) 体育祭各係会(7限) 45分×6限	1,2,7
10	木	体育祭準備・予行　　3年1限授業 学校安全の日	1～7
11	金	体育祭予行予備日 1・2年合同練習(5・6限)	3, 4
12	土	**第61回体育祭**	
13	日	体育祭予備日	
14	月	体育祭代休日	
15	火	**3年実力考査（1日目）** 学年会	
16	水	**3年実力考査（2日目）**	
17	木		
18	金	45分×6限授業（7限ｶｯﾄ） 第4回職員会議(15:20～16:50)	
19	土	秋季悠学講座	
20	日		
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木	（秋季悠学講座）	
25	金	**前期終業式**　　大掃除 1・2年学力検討会	
26	土		
27	日		
28	月	秋季悠学講座	秋季休業日
29	火		
30	水		
10/1	木	**後期始業式　　中掃除**	

※定期演奏会は次号掲載します。